

目次

福祉ってなんだろう？

ふだんのくらしのしあわせ 1

ともに生きる地域ってなんだろう？

まちを観察してみよう 2

周囲にいる人はどんな人？ 4

「共生社会」を目指す 6

滋賀県と福祉 7

障害福祉と造形活動 8

ひろがる障害者スポーツ 9

アスリートインタビュー 10

バリアについて考えてみよう

どこに「バリア」はあるのかな？ 12

まちなかにある「サイン」 14

「ユニバーサルデザイン」って何？ .. 16

合理的配慮って？ 19

できることについて考えてみよう

まずは声かけから始めよう 21

困っている時にできること 22

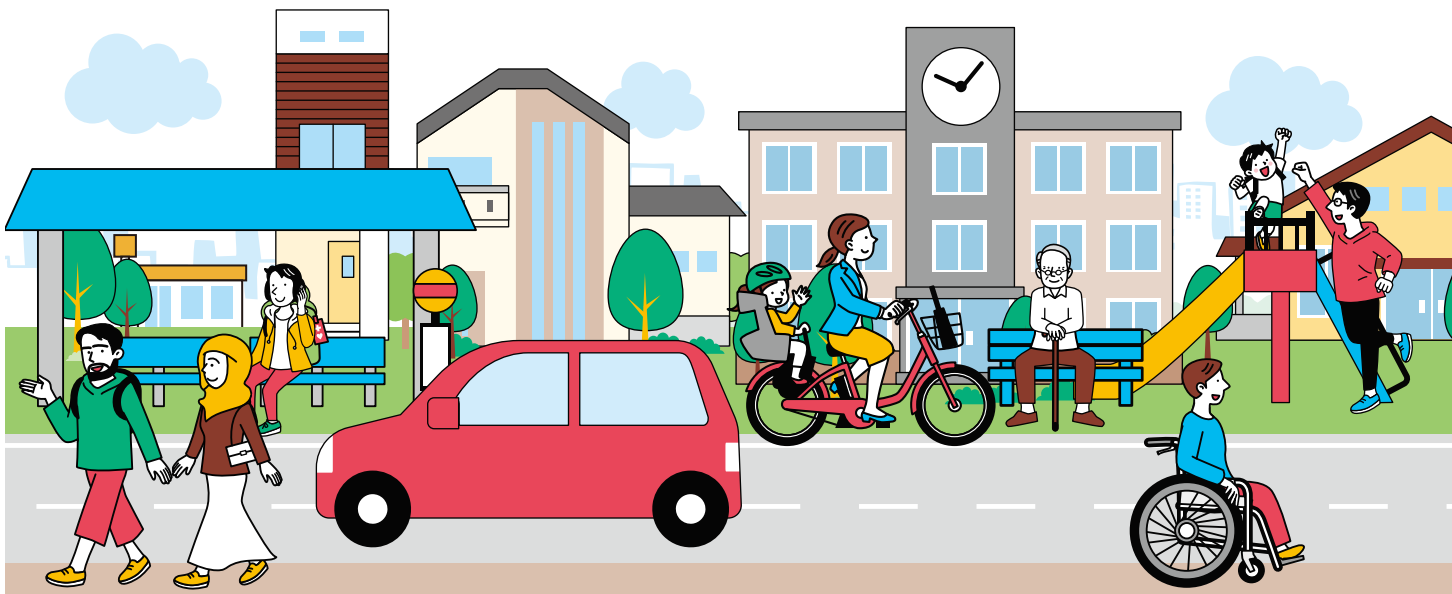
心のバリアフリーを実践 23

「心身機能の障害」を理解しよう 24

さまざまな居場所 27

寄り添う人たち 28

地域で活躍する人たち 29



ふだんの くらしの しあわせ

「福祉」という言葉を聞いたことがある人は多いでしょう。

しかし、「福祉」って何？と聞かれたら、なんと答えますか。迷わず答えられる人は少ないかもしれません。

「福祉」とは、すべての人がその人らしく、幸せに暮らしていくことを支え、助けていくことを指します。言い換えるならば、「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせだと言えます。では、「しあわせ」とはどのような状態のことでしょうか。

わたしたちが暮らす滋賀県や市町では、福祉を向上させるためにさまざまな取組が行われています。しかし、そうしたサービスさえあれば福祉は実現できると言えるのでしょうか。「福祉」が指す豊かで幸せな暮らしには、周囲の人たちと理解し合い、支え合うことがなにより大切です。

あなたはもちろん、周囲のすべての人が一人ひとり違う人間です。年齢、性別、国籍、出身地、言語、価値観、能力など、違いを考えるとたくさんあることに気づきます。これまでも、この先にも、多様な人との出会いの中でわたしたちは生きていきます。

すべての人が分けへだてられることなく大切にされ、支え合えること。だれもが暮らしやすく、生き生きとした社会となること。こうした「共生社会」を目指すため、わたしたちにどんなことができるのか、一緒に考えていきましょう。

